

平成 29 年度第 3 回島根県公立大学法人評価委員会 議事要旨

1. 日時

平成 29 年 8 月 17 日（木）13：30～15：00

2. 場所

島根県庁会議棟 第 2 会議室

3. 出席者

（委員）

服部委員長、渋川委員、服部京子委員、三島委員、宮脇委員

（事務局）

松尾総務部長、藤井総務課長、高宮私学・県立大学室長、井上企画幹、梶主任主事

（公立大学法人島根県立大学）

山崎事務局長、福間企画調整室長、浅井財務課長、奥野企画員、石倉主任

4. 会議次第

（1）公立大学法人島根県立大学の平成 28 年度業務実績の評価について

（2）公立大学法人島根県立大学の平成 28 年度財務諸表について

（3）公立大学法人島根県立大学の平成 28 年度剰余金について

5. 会議の概要

（1）公立大学法人島根県立大学の平成 28 年度業務実績の評価について

- ・ 事務局から、資料 1 により評価結果（案）についての説明があった。
- ・ 前回評価委員会の意見を踏まえて作成された評価案についての意見はなく、評価結果が確定した。

< 質疑等概要 >

- ・ 県立大学は北東アジアの教育・研究を進めているが、日本企業の進出や、トビタテ JAPAN の留学実績などは、東南アジアやインドにシフトしている。教育・研究エリアのシフトも考えられるのではないか。
- ・ 国際交流参加者実績が 147 名となり、目標の 180 名に届かなかった。今後目標達成に向けて、学生の参加希望が増えるようなプログラムや、留学先の検討をしていただきたい。
- ・ 大学の評価は、本来は絶対評価であるべきだが、国立大学の評価では他の国立大学との相対評価の面を含んでしまうこともある。絶対評価だけでは、評価がガラパゴス化してしまいがちなので、相対評価の面も一定程度は必要と思われる。

(2) 公立大学法人島根県立大学の平成 28 年度財務諸表について

- ・ 事務局から、資料 3-1, 3-2 により公立大学法人島根県立大学が作成した平成 28 年度財務諸表の概要について説明があり、併せて、財務諸表に係る知事承認の方針に基づき、平成 28 年度財務諸表を承認したい旨の説明がされた。
- ・ 平成 28 年度財務諸表承認については、「意見なし」とされた。

(3) 公立大学法人島根県立大学の平成 28 年度剰余金について

- ・ 事務局から、資料により公立大学法人島根県立大学の平成 28 年度に生じた未処分利益（剰余金）1 億 5,859 万 1,968 円の処分に関して、法人の中期計画に係る目的積立金として利益処分することを承認したい旨の説明があった。
- ・ 平成 28 年度剰余金の承認については、「意見なし」とされた。